

令和6年度岩手県高等学校1年・2年意識調査結果の概要について

I 調査結果の概要

1 調査の目的

各高等学校等において、入学時点及び1年生修了時点での生徒一人ひとりの生活の実態や学習等の意識を把握し、その結果を基に指導の充実を図る。また、全県的な規模で生活の実態や学習等の意識を把握することにより、明らかになった課題を教育施策に反映させ、本県の生徒の学力向上に資する。

2 調査の内容

調査種類	実施期間	調査対象	対象数
生徒質問紙調査 (MicrosoftForms で実施)	令和6年4月10日(水) ～4月17日(水)	公立高等学校 第1・2学年	第1学年 7,068名 高等学校(全日制・定時制) 63校／特別支援学校 1校 第2学年 6,866名 高等学校(全日制・定時制) 63校／特別支援学校 1校

3 今年度の成果○と課題△

<第1学年>

A-2「自分には良いところがあると思いますか。」

○R5と比較し、肯定回答が4.4ポイント増加し、84.5%。(R5 80.1%)

G-10「学校の授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用していますか。」

○R5と比較し、「ほぼ毎日」と「週3回以上」を合わせた回答の割合が15.7ポイント増加し、68.8%。(R5 53.1%)

G-19「志望校を決定する際、他の高校の特色、学習内容等も理解していましたか。」

○R5と比較し、「関心のある高校の特色、学習内容等は理解していた」と回答した割合が4.2ポイント増加し、66.7%。(R5 62.5%)

F-1「平日(月～金)1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオを観ますか。」

△R5と比較し、「2時間以上」の生徒の割合が25.7ポイント増加し、53.0%。(R5 27.3%)

F-2「平日(月～金)1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンを使用しますか。」

△R5と比較し、「2時間以上」の生徒の割合が6.8ポイント増加し、63.9%。(R5 57.1%)

<第2学年>

G-1「現在の高校での生活に満足していますか。」

○R5と比較し、肯定回答が4.7ポイント増加し、90.8%。(R5 86.1%) (令和6年度目標値90%を達成)

G-10「学校の授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用していますか。」

○R5と比較し、「ほぼ毎日」と「週3回以上」を合わせた回答の割合が7.8ポイント増加し、33.3%。(R5 25.5%)

D-1「学校の宿題だけでなく、自主学習に取り組んでいますか。」

○R5と比較し、肯定回答が6.8ポイント増加し、52.0%。(R5 45.2%) (令和6年度目標値53%を未達成)

B-2「自分の住む地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか。(総探の時間や課題研究等に関する活動も含む)」

△R5と比較し、肯定回答が3.0ポイント減少し、67.4%。(R5 70.4%) (令和6年度目標値75%を未達成)

F-1「平日(月～金)1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオを観ますか。」

△R5と比較し、「2時間以上」の生徒の割合が22.5ポイント増加し、48.1%。(R5 25.6%)

Ⅱ 調査結果

1 自己肯定感

- 自分には良いところがあると思いますか。

高校1年生 (A-2)	R6	R5
そう思う	34.6%	31.0%
どちらかといえば、そう思う	49.9%	49.1%
「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」を合わせた肯定回答の割合は84.5%。(令和5年度と比較して4.4ポイント増加)		

高校2年生 (A-2)	R6	R5
そう思う	32.8%	30.3%
どちらかといえば、そう思う	48.4%	48.5%
「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」を合わせた肯定回答の割合は81.2%。(令和5年度と比較して2.4ポイント増加)		

2 地域について

- 「自分の住む地域には良いところがあると思いますか」

高校1年生 (B-1)	R6	R5
そう思う	57.6%	60.7%
どちらかといえば、そう思う	36.0%	32.7%
「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」を合わせた肯定回答は93.6%。(令和5年度と同程度)		

高校2年生 (B-1)	R6	R5
そう思う	51.6%	48.5%
どちらかといえば、そう思う	39.8%	41.7%
積極肯定「そう思う」は51.6%。(令和5年度と比較して3.1ポイント増加)		

- 自分の住む地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか。

高校1年生 (B-2)	R6	R5
考える	21.0%	25.9%
どちらかといえば、考える	48.5%	49.8%
「考える」「どちらかといえば、考える」を合わせた肯定回答の割合は69.5%。(令和5年度と比較して6.2ポイント減少)		

高校2年生 (B-2)	R6	R5
考える	22.7%	23.1%
どちらかといえば、考える	44.7%	47.3%
「考える」「どちらかといえば、考える」を合わせた肯定回答の割合は67.4%。(令和5年度と比較して3.0ポイント減少)		

3 学校生活の満足感

- 中学校での生活について満足していましたか。(高校1年生)
現在の高校での生活について満足していますか。(高校2年生)

高校1年生 (C-1)	R6	R5
満足していた	64.7%	67.7%
どちらかといえば、満足していた	28.3%	25.0%
「満足していた」「どちらかといえば、満足していた」を合わせた肯定回答の割合は93.0%。(令和5年度と比較して0.3ポイント増加)		

高校2年生 (C-1)	R6	R5
満足している	42.0%	38.6%
どちらかといえば、満足している	48.8%	47.5%
「満足している」「どちらかといえば、満足している」を合わせた肯定回答の割合は90.8%。(令和5年度と比較して4.7ポイント増加)		

4 志望校の決定について (高校1年生のみの質問)

- 志望校を決定する際、他の高校の特色、学習内容等も理解していましたか。(高校1年生)

高校1年生 (C-19)	R6	R5
色々な高校の特色、学習内容等も理解していた。	17.9%	22.5%
関心のある高校の特色、学習内容等は理解していた。	66.7%	62.5%
「関心のある高校の特色、学習内容等は理解していた」は66.7%。(令和5年度と比較して4.2ポイント増加)		

5 授業中と家庭での学習について

- 中学校の授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。(高校1年生)
授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。(高校2年生)

高校1年生 (C-3)	R6	R5
そう思う	39.4%	36.0%
どちらかといえば、そう思う	48.7%	50.6%
「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」を合わせた肯定回答の割合は88.1%。(令和5年度と比較して1.5ポイント増加)		

高校2年生 (C-3)	R6	R5
そう思う	34.5%	29.3%
どちらかといえば、そう思う	54.3%	58.5%
「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」を合わせた肯定回答の割合は88.8%。(令和5年度と比較して1.0ポイント増加)		

- 中学校では、宿題だけでなく、自主学習に取り組んでいましたか。(高校1年生)
学校の宿題だけでなく、自主学習に取り組んでいますか。(高校2年生)

高校1年生 (D-1)	R6	R5
当てはまる	30.1%	26.4%
どちらかといえば、当てはまる	40.3%	42.4%
「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」を合わせた肯定回答の割合は70.4%。(令和5年度と比較して1.6ポイント増加)		

高校2年生 (D-1)	R6	R5
当てはまる	17.7%	11.7%
どちらかといえば、当てはまる	34.3%	33.5%
令和6年度目標値53%に対して、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」を合わせた肯定回答の割合は52.0%。(令和5年度と比較して6.8ポイント増加)		

6 教科・授業に対する意識

- 中学校での国語/数学/英語の授業の内容はよく分かりましたか。(高校1年生)
国語/数学/英語の授業の内容はよく分かりますか。(高校2年生)

高校1年生・国語 (C-14)	R6	R5
よく分かった	38.4%	39.8%
どちらかといえば、分かった	50.3%	50.8%
「よく分かった」「どちらかといえば、分かった」と肯定回答した生徒の割合は、88.7%。(令和5年度と比較して1.9ポイント減少)		

高校2年生・国語 (C-14)	R6	R5
よく分かる	29.3%	27.5%
どちらかといえば、分かる	56.9%	60.2%
「よく分かる」「どちらかといえば、分かる」と肯定回答した生徒の割合は、86.2%。(令和5年度と比較して1.5ポイント減少)		

高校1年生・数学 (C-16)	R6	R5
よく分かった	33.7%	33.6%
どちらかといえば、分かった	42.3%	43.2%
「よく分かった」「どちらかといえば、分かった」と肯定回答した生徒の割合は、76.0%。(令和5年度と比較して0.8ポイント減少)		

高校2年生・数学 (C-16)	R6	R5
よく分かる	25.6%	24.1%
どちらかといえば、分かる	47.9%	48.0%
「よく分かる」「どちらかといえば、分かる」と肯定回答した生徒の割合は、73.5%。(令和5年度と比較して1.4ポイント増加)		

高校1年生・英語 (C-18)	R6	R5
よく分かった	28.6%	27.7%
どちらかといえば、分かった	40.3%	40.7%
「よく分かった」「どちらかといえば、分かった」と肯定回答した生徒の割合は、68.9%。(令和5年度と比較して0.5ポイント増加)		

高校2年生・英語 (C-18)	R6	R5
よく分かる	21.2%	20.9%
どちらかといえば、分かる	48.4%	49.3%
「よく分かる」「どちらかといえば、分かる」と肯定回答した生徒の割合は、69.6%。(令和5年度と比較して0.6ポイント減少)		

7 家庭学習時間

- 「中学校3年生の夏休み明け、学校の授業以外で、平均すると、平日におよそどのくらい学習していましたか(塾で勉強したり、家庭教師の先生に教わったりしている時間も含まれます)」

高校1年生 (D-2)	R6	R5
4時間以上	4.7%	5.2%
3時間以上4時間未満	11.1%	11.7%
2時間以上3時間未満	29.9%	31.2%
1時間以上2時間未満	34.0%	33.7%
30分以上1時間未満	11.7%	11.7%
30分未満	4.7%	3.5%
まったくしなかった	3.5%	2.8%
「2時間以上」の生徒の割合は45.7%。(令和5年度と比較して2.4ポイント減少)		

- 「学校の授業時間以外に、平均すると、平日(月～金)にどのくらい学習していますか(塾で勉強したり、家庭教師の先生に教わったりしている時間も含まれます)」

高校2年生 (D-2)	R6	R5
4時間以上	1.6%	1.1%
3時間以上4時間未満	2.2%	2.2%
2時間以上3時間未満	9.3%	12.0%
1時間以上2時間未満	30.3%	33.4%
30分以上1時間未満	27.2%	25.4%
30分未満	16.4%	14.0%
まったくしない	12.8%	11.8%
「2時間以上」の生徒の割合は13.1%。(令和5年度と比較して2.2ポイント減少)		

8 授業におけるICT活用状況及びテレビや携帯電話やスマートフォンの利用状況等

- 「学校の授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用していますか」

高校1年生 (C-10)	R6	R5
ほぼ毎日	36.5%	22.1%
週3日以上	32.3%	31.0%
「ほぼ毎日」「週3日以上」を合わせた回答の割合は68.8%。(令和5年度と比較して15.7ポイント増加)		

高校2年生 (C-10)	R6	R5
ほぼ毎日	13.2%	10.1%
週3回以上	20.1%	15.4%
週3回以上使用している割合は33.3%。(令和5年度と比較して7.8ポイント増加)		

- 「学校の授業で、PCやタブレットなどのICT機器を使うことは勉強の役に立つと思いますか」

高校1年生 (C-11)	R6	R5
そう思う	65.7%	63.2%
どちらかといえば、そう思う	29.2%	30.9%
「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」を合わせた肯定回答の割合は94.9%。(令和5年度と比較して0.8ポイント増加)		

高校2年生 (C-11)	R6	R5
そう思う	56.8%	57.9%
どちらかといえば、そう思う	36.4%	35.3%
「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」を合わせた肯定回答の割合は93.2%。(令和5年度と同程度)		

● 「平日（月～金）1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオを観ますか。」

高校1年生 (F-1)	R6	R5
3時間以上	26.6%	9.4%
2時間以上3時間未満	26.4%	17.9%
「2時間以上」の生徒の割合は53.0%。（令和5年度と比較して25.7ポイント増加）		

高校2年生 (F-1)	R6	R5
3時間以上	26.6%	9.6%
2時間以上3時間未満	21.5%	16.0%
「2時間以上」の生徒の割合は48.1%。（令和5年度と比較して22.5ポイント増加）		

● 「平日（月～金）1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンを利用しますか」

高校1年生 (F-2)	R6	R5
3時間以上	29.4%	24.6%
2時間以上3時間未満	34.5%	32.5%
「2時間以上」の生徒の割合は63.9%。（令和5年度と比較して6.8ポイント増加）		

高校2年生 (F-2)	R6	R5
3時間以上	38.6%	36.9%
2時間以上3時間未満	30.3%	33.6%
「2時間以上」の生徒の割合は68.9%。（令和5年度と比較して1.6ポイント減少）		

● 「携帯電話やスマートフォンをどのような用途や目的で使っていますか、主なものを2つ選んでください」

高校1年生 (F-3)	R6	R5
勉強・学習等	20.1%	21.7%
SNS (LINE、X (旧 Twitter) 、TikTok など)	68.1%	70.2%
ゲーム	30.9%	29.2%
インターネット閲覧 (SNS は除く)	5.0%	5.1%
動画視聴 (YouTube など)	45.0%	45.8%
音楽視聴	26.1%	24.2%
電子書籍	2.0%	2.2%
「SNS」が最も多く68.1%、「動画視聴」が2番目に多く45.0%だった。		

高校2年生 (F-3)	R6	R5
勉強・学習等	18.7%	16.6%
SNS (LINE、X (旧 Twitter) 、TikTok など)	69.5%	73.0%
ゲーム	32.9%	30.1%
インターネット閲覧 (SNS は除く)	3.7%	4.6%
動画視聴 (YouTube など)	45.1%	48.2%
音楽視聴	26.8%	24.7%
電子書籍	1.6%	2.2%
「SNS (LINE、Twitter、TikTok など)」が最も多く、69.5%で、令和5年度より3.5ポイント減少した。「勉強」は18.7%。（令和5年度と比較して2.1ポイント増加）		

9 進路希望

- 「高校卒業後の進路について、現在のあなたの希望は、次のうちのどれですか」

高校1年生 (E-2)	R6	R5
県内に就職希望	10.6%	10.2%
県外に就職希望	4.6%	4.1%
就職希望であるが、県内・県外は未定	6.0%	6.8%
大学か短期大学に進学希望	40.4%	37.2%
専門学校に進学希望	11.3%	10.8%
進学希望であるが、大学・短期大学・専門学校は未定	15.0%	16.1%
進路希望は未定	11.0%	14.2%
「就職希望」は21.2%で、令和5年度と同程度だった。「進学希望」は66.7%で、令和5年度より2.6ポイント増加した。「進路希望が未定」は11.0%。(令和5年度と比較して3.2ポイント減少)		

高校2年生 (E-2)	R6	R5
県内に就職希望	12.9%	12.2%
県外に就職希望	6.4%	4.9%
就職希望であるが、県内・県外は未定	5.6%	6.6%
国公立大学に進学希望	34.5%	32.3%
私立大学に進学希望	4.7%	4.7%
大学進学希望であるが、国公立・私立は未定	8.0%	8.1%
短期大学に進学希望	1.8%	2.1%
専門学校に進学希望	12.3%	12.9%
進学希望であるが、大学・短期大学・専門学校は未定	6.8%	7.9%
進路希望は未定	6.8%	8.1%
「国公立大学に進学希望」は34.5%。(令和5年度と比較して2.2ポイント増加)		

- 「高校卒業後の進路について、あなたの保護者はどのように考えていますか」

高校1年生 (E-3)	R6	R5
県内での就職をすすめている	10.2%	9.4%
県外での就職をすすめている	2.5%	1.8%
県内、県外に関係なく、就職をすすめている	6.7%	7.9%
大学か短期大学への進学をすすめている	36.8%	33.7%
専門学校への進学をすすめている	8.1%	7.5%
大学、短期大学、専門学校に関係なく、進学をすすめている	15.6%	15.6%
自分の進路について、保護者と話したことがないのでわからない	12.9%	14.9%
「就職をすすめている」は19.4%で、令和5年度と同程度だった。「進学をすすめている」は60.5%で、令和5年度より3.7ポイント増加した。「保護者と話したことがないのでわからない」は12.9%。(令和5年度と比較して2.0ポイント減少)		

高校2年生 (E-3)	R6	R5
県内での就職をすすめている	14.0%	13.2%
県外での就職をすすめている	4.0%	2.6%
県内、県外に関係なく、就職をすすめている	7.6%	9.1%
国公立大学への進学をすすめている	33.1%	31.3%
私立大学への進学をすすめている	2.1%	2.2%
国公立大学・私立大学に関係なく、大学への進学をすすめている	9.7%	9.5%
短期大学への進学をすすめている	1.6%	2.0%
専門学校への進学をすすめている	9.2%	9.4%
大学、短期大学、専門学校に関係なく、進学をすすめている	9.4%	10.6%
「国公立大学への進学をすすめている」は33.1%。(令和5年度と比較して1.8ポイント増加)		

10 調査結果の活用と今後の取組

取組主体	活用及び今後の取組
学校	○ 学校別集計結果は、指導の充実を図る参考資料として活用するよう送付済である。
県教育委員会	○ 全県的な結果分析等を各研修で活用するとともに、指導主事による個別訪問の際に教科担当者へ課題を伝え、つまづきを克服するような授業改善となるように促す。 ○ 高校において本調査に基づいた学力向上に係る学校全体での組織的な取組を促すとともに、特色ある授業改善事例の情報の共有を図る。